

令和4年2月定例会
宇土市教育委員会会議録

宇土市教育委員会

1. 日 時 令和4年2月10日(木) 午前9時30分開議
2. 場 所 宇土市教育委員会2階会議室
3. 出席委員 太田 耕幸教育長 近藤 修教育長代理 芥川 学委員
白井 正晴委員 岳元 さよ子委員
4. 欠席委員 なし
5. 職務のために出席した者

教育部長 山口 裕一 学校教育課長 池田 和臣
指導主事 太田黒 保宏 学校教育課総務係長 渡辺 佳助
生涯活動推進課長 内田 雅之 文化課長 淵上 真行
給食センター所長 藤本 勲 図書館長 久多見 さとみ



議事日程

- 1 会議録署名委員の指名
 - 2 会期の決定
 - 3 議案第3号 宇土市立幼稚園一時預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について
 - 4 議案第4号 宇土市立小・中学校管理運営規則の一部を改正する規則について
 - 5 議案第5号 宇土市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について
 - 6 議案第6号 児童・生徒の表彰について
 - 7 議案第7号 特別支援学級等への就学について
 - 8 議案第8号 令和3年度宇土市一般会計補正予算について
 - 9 議案第9号 令和3年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計補正予算について
 - 10 議案第10号 令和4年度宇土市一般会計予算について
 - 11 議案第11号 令和4年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計予算について
- 報告事項



太田教育長 令和4年2月教育委員会定例会会議を開会いたします。
本日は、4人の委員全員が出席でありますので、この会議は成立
いたします。



日程第1

太田教育長 本日の会議録署名委員の指名をいたします。
会議録署名委員に近藤委員・芥川委員を指名いたします。



日程第2

太田教育長 本日の2月教育委員会定例会の会期を1日とします。
御異議ございませんか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

太田教育長 異議ないものと認めます。



日程第3から11号

太田教育長 今月の定例会は新型コロナウイルス感染症蔓延防止期間内のため、
予防の観点から課ごとに議案及び報告事項を一括して行い、質疑
を行います。

なお、議案第6号及び議案第7号は個人情報に関する議案ですの
で、非公開で審議を行います。

ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

太田教育長 異議ないものと認めます。

まず、教育部長からお願いします。

教育部長 (報告事項)

太田教育長 次に文化課から説明をお願いします。

文化課長 (提案理由等説明)
(質疑)

(議案第10号)

近藤委員 外部評価での今後の取り組みとして、小西行長のゆかりの地ツア
ー等を実施したいとあったが、取組に向けて予算措置はあるのか。
また、来年度の予算はなく、検討を行う程度なのか。

文化課長 来年度は、予算は計上していないが、内容の検討を行っていきた
い。

太田教育長 次に学校教育課をお願いします。

学校教育課長 (提案理由等説明)
(質疑)

(議案第4号関係)

岳元委員 事務センター長と主任事務長の違いはなにか。

学校教育課長 同じである。

近藤委員 規則には学校には記載があるが、拠点校にのみ主任事務長を置く
ということか。

学校教育課長 そのようになる。

岳元委員 グループ長は各校に配置されている中の事務職員の誰かというこ

とか。

学校教育課長
岳元委員
学校教育課長
そのようになる。
事務センターに常駐しているのは、センター長のみか。
そのようになるが、週に2, 3回事務センターに集まり共同で事務処理を行う予定で、具体的にどのように勤務し運用していくのか検討を行っていく。また、センター長を配置することで、チェック体制を強化できる。

岳元委員
宇土小や鶴城中などは事務職員が2名いるが、2名は引き上げになるのか。

学校教育課長
岳元委員
学校教育課長
岳元委員
学校教育課長
現在の配置はそのままである。
それでは、2名とも事務センターで事務を行うということか。
そのようになる。
その間学校は事務が不在になるのではいか。
センター長にある程度決裁権を付与し、集中的に処理をしてもらうことになる。

岳元委員
集約すると学校毎でのバラツキや判断基準の差が少なくなると思う。

白井委員
各校の事務が週に2, 3回集まるということだが、その間、学校に不在となるのか。

学校教育課長
1日すべてなのか、半日のみなのかも含めて、グループ割等は今後検討していく。

白井委員
事務職は、文書管理や物品管理などを担ってきたが、疎かになり停滞するようなことはないか。

学校教育課長
芥川委員
影響が出ないように運用は検討していく。
提案理由の中に、「子どもと向き合える時間を確保できる」とあったが、どのような事が子どもと向き合える時間となるのか。

学校教育課長
業務をスムーズに進行できることで、働き方改革につながっていく。時間に余裕ができることで最終的には、子どもたちと向き合う時間の確保が期待できる。

芥川委員
基本的には事務職員は、子どもの教育には携わらないので、担任などの補助的役割を担うようになれば子供と向き合える時間が増え、学校全体に影響していく。事務職員の負担軽減にはつながるが、事務職員のみでは教員の負担軽減にはつながらないのではいか。

岳元委員
教員に対しては、事務職員がいないことで処理を待つ必要があり、が逆効果ではないか。

芥川委員
学校の働き方改革について協議する中に、事務職員についても触れているので、その時に再度協議を行いたい。

学校教育課長
近藤委員 担当職員も同席し、協議させていただきたい。
趣旨が分からなかった。現在教員が行っている業務の内、事務職員が担っている業務があるのではないかというのは以前から言われていたので、それを振り分ける話なのかとっていた。しかし、本日伺ってみると、事務職員が子どもに向き合えるとあり、率直に分からない。
例えば、一番大きいものだと徴収金に関することだが、今度すべて事務職員に集約することで、教員の負担を軽減するのかと思っていたが、そういう趣旨で捉えていいのか。

学校教育課長 徴収金に関して、事務センターを設置することにより、事務職員に担ってもらうことも考えており、教員の負担軽減につながる事が期待できる。

近藤委員 事務センターができることで何が軽減できるかがよく分からない。お金に関することは事務職員が担うということでもいいのか。

学校教育課長
岳元委員 すべてになるのかは分からないが、実施していきたい。
事務センターで担うのであれば、教材費等を市全体で統一しなくてはいけないのではないか。

指導主事
岳元委員
芥川委員 クラスや学年等で教材も変わってくるので、統一するのは難しい。
教員の負担になっているのは徴収金のところだが、できるのか。
事務職員が担うと教員が子どもと向き合う時間は増えると思う。
そういうことであれば、提案理由にも結び付く。

学校教育課長
近藤委員 担当職員も含めて説明させていただきたい。
事務センター長は校長の監督を受けとあるが、この校長とはどの校長を指すのか。

太田教育長
学校教育課長
岳元委員 鶴城中にセンターを設置するため、鶴城中学校校長になる。
評価等も鶴城中学校の校長が行う。
そうであれば、センター長の業務の確認は鶴城中学校の校長が行うこととなり、業務が増えて厳しくなる。

学校教育課長 鶴城中に設置するため、日頃から把握されているので監督するのは鶴城中の校長となる。

岳元委員 鶴城中の事務長がセンター長になるのか。

学校教育課長
岳元委員 県費の課長級が別に配置となる。
それでは、現在の2名に加えてもう1名増えるのであれば、大変ではないか。

太田教育長 2名の事務職員については、事務に関することはセンター長が監督し、評価を行う。

岳元委員 そうであれば、各学校の事務についてもセンター長が評価等を行うのか。

芥川委員
太田教育長
岳元委員

太田教育長
岳元委員

近藤委員
太田教育長
芥川委員
学校教育課長

白井委員

学校教育課長

白井委員

学校教育課長
岳元委員

学校教育課総務係長

そうなると各学校の様子は分からないのではないかと。
各学校の事務職員の監督は各学校長が行うこととなる。
センター長は、市内の事務を取りまとめするので鶴城中の校長が評価するのではなく、教育委員会が行う必要があるのではないかと。
評価等の仕組みは再度確認をさせていただく。
センター方式で行っているところで課題になっているところはそのような点だと聞いている。
お金関係を事務職員に任せるとなってもうまくいっていかなく、教員の負担軽減になっていない。しかも、事務職員が不在となることで滞るといのが現実では起こっている。
事務センターの設置は県から言われているのか。
依頼があっている。
県の職員が配置されるということか。
そうである。
本議案については、詳細を確認し、3月の定例教育委員会でさいど御審議いただきたい。
(議案第11号関係)

昨年、一昨年の花園小学校への学校訪問で体育館への渡り廊下の腐食がひどくなっており学校から要望があっていたが、来年度予算で対応するのか。
工事費としてではなく、修繕で対応するため学校の修繕料に詳細の項目はないがその範囲内で支出を行う。
大規模な工事が必要な場合は、事業化して工事費を計上する。
なお、用務員が可能な範囲は修繕をされたと聞いているが、年数を経過し、劣化が進んでいるので大規模な改修が必要だと感じている。

点検等を行い、常に注意してほしい。
次に、宇土小学校でテレビ購入の予算が計上されているが、学級の人数に合わせてサイズを選定するようにしてほしい。
もう1点が、事務センターの予算が計上されているが、パソコンやネットワークの経費がないが、どのようになっているのか。
まず、テレビについては別途65型の電子黒板を整備する予定。
教室も狭く、テレビ台も大きいため、テレビや電子黒板は天井から吊るせないか。
重量もあるので、現状では構造的に無理があり、天井等の補強が必要となるため、困難である。
ただし、サイズについては65型を基本としているが、学級の規模等に応じて検討する必要がある。

学校教育課長 事務センターについては、パソコンは市所有のものを使用し、ネットワークについては、今年度配線等を完了することとしている。

芥川委員 中学校の英検について、補助を予定している人数より受検者が少ない。学力テストでの課題として中学校の英語が挙げられる。日頃の授業から動機づけを行うなどできないか。

学校教育課長 昨年度と今年度は新型コロナウイルスの影響があり、全体的に受験者数が少なかったと思われる。

芥川委員 新型コロナウイルスの影響だとは理解できるが、その時の子ども達が不利益を被るわけなのでどうにかならないかと感じている。

太田教育長 英検の補助は3年生を対象に県が1/3を補助し、市が1/3を補助しており、宇土市の場合は保護者の負担についても負担している。県が目指しているのは30%だが、宇土市では小規模校は約半数が3級程度を取得している。担当で1、2年生にも補助できないか県に要求を行っているが、現状では3年生のみとなっている。

近藤委員 予算としては、増額してあるが増える見込みということか。

学校教育課長 大きな増減はないが見込で計上している。

近藤委員 先ほども話があったが、2年生からでも拡充した方がいい。3年生になると受験もあり難しいところもあるので検討してほしい。

学校教育課長 2年生は全て市の負担となってしまうため、予算面で難しいところもある。

岳元委員 家庭での学習も必要なので、受検者を増やすためにも啓発を行ってほしい。合格すると自信にもつながる。

近藤委員 4点伺いたい。

1点目が、外部評価での意見で教員のICT活用のスキルアップについて研修会等を実施していくとあったが、予算として挙がっているのか、予算を伴わず研修会等を行うのか。

2点目が、昨年6月議会での一般質問への答弁で登下校を確認できるICタグについて導入自治体を調査検討していきたいとあったが、予算も含めて取組について伺いたい。

3点目が、同じく昨年6月議会において、ヤングケアラーについて福祉と連携を行い早期発見し対応したいと答弁があったが、このことについても予算も含めて取組について伺いたい。

最後に、昨年、緊急点検を行い使用禁止の措置を行った遊具の改修や新設の予算はどうなっているのか伺いたい。

教育部長 ICTタグについては、後ほど生涯活動推進課長から報告を行う。

学校教育課総務係長 ICT活用の研修については、県も専門の部署を創設し、研修等に力を入れられており、県の派遣をお願いし、各校で研修会を行

っている。その取組に合わせて、学校情報サポートとして委託料を計上しており、様々なマニュアル作成や研修会の開催、学校への訪問支援を行う予定としている。

学校教育課長 ヤングケアラーについては、特に予算を計上していないが、福祉部局とのケース会議等でヤングケアラーの兆候が見受けられる場合は、解消に向けた取組みを行っていくと申し合わせている。次に遊具の使用については、修繕できる箇所については、簡易的な修繕は学校予算、高額なものは施設系の予算を使用し実施している。老朽化等により撤去が必要なものもあるため、早急に対応していきたい。

芥川委員 使用禁止期間が長くなると、学校に対する地域や保護者からの信用がなくなるので、早急に対応してほしい。

近藤委員 ヤングケアラーの取組を次年度以降取り組んでほしい。

【休憩】

太田教育長 次に図書館長から説明をお願いします。
(議案第5号)

近藤委員 祝日が木曜日や館内整理日となった場合は、休館になるのか。
図書館長 休館となる。
芥川委員 第4金曜日とは、4週目の金曜日なのか、その月の4回目の金曜日ということか。
図書館長 その月の4回目の金曜日としている。
(議案第11号関係)

白井委員 図書購入費はいくら計上してあるのか。
図書館長 需用費の内500万円である。
太田教育長 次に給食センター所長をお願いします。
(議案第8号関係)

岳元委員 給食がキャンセルになった場合、間に合わない場合の食材はどうなるのか。
給食センター所長 米飯については余るため、処分となる。後ほどの報告事項で詳細はご説明する。
(議案第11号関係)

岳元委員 給食費については、現年度についても今後はセンターで徴収していくのか。
給食センター所長 すぐではないが、今後は検討している。
太田教育長 最後に生涯活動推進課長をお願いします。
(議案第8号関係)

近藤委員 ジュニアスポーツ応援補助金は対象人数を増やして増額補正してあるが、増加させた20名は要綱に沿っての人数か。

なることに対する保護者の不安や疑問を払拭できるような具体的な内容も記載し早めに通知してほしい。

学校教育課長

先日、校長会長と協議を行い、2月中旬に各校から通知を行うことになった。

近藤委員

抽象的ではなく、具体的に記載するようしてほしい。

給食センター所長

先ほど議案でご質問を受けた食材の取り扱いについては、学校教育課と連携を取り極力キャンセルが行えるよう取り組んでいるが、間に合わない場合は、届いた食材を工夫して使用するようしており、パンについては間に合わない場合は廃棄となっている。ただし、現状は学級閉鎖なので対応できているが、学校閉鎖などキャンセルの人数が多いと他に回すことが困難なため、早めのキャンセル等が必要となる。

近藤委員

予約システムの支払いは現金か。

生涯活動推進課長

現金のみである。

生涯活動推進課長

先ほどの議案説明でご質問があったICタグを使用した児童見守りシステムについては、県内は熊本市の47校、鏡小学校が導入されており、鏡小学校を視察した際に伺った話では、学校では必要性をそれほど感じてないが、保護者から問い合わせがあった場合にはそのシステムで確認ができる。しかし、出入りを確認だけでは足りないため、最終的には職員が下駄箱や校庭等を確認する必要があるとのことだった。なお、学校として良い点はカメラが設置される点はいい点ということであった。

県外の別の業者にも確認したが、そこはカメラの設置はないとのことだった。

市PTA連合会へ周知を行ったが、問い合わせは今のところない。宇土小の会長と話しを行ったが、1人あたり月400円の経費は高額なので導入は難しいだろうとのことであった。

視察等を行った結果、ICタグではなくカメラの設置の方が活用できると考え、資料等を集めて、良い方法はないか学校教育課と検討を行っている。

岳元委員

下校した時間が分かれば、何時ぐらいに家に着くのが、家庭で把握できるため、保護者は安心すると思う。

生涯活動推進課長

小規模校では採算が取れないと聞いている。

岳元委員

熊本市は市が契約しているのか。

生涯活動推進課長

熊本市はPTAが契約しており、鏡小は学校が契約している。

議事録署名

委員 近藤 修

委員 芥川 学